

第 29 回例会（最終例会） 2022.6.29（水）

■出席率 会員 69名中 54名出席 78.26% 修正 55名 79.71%
メイクアップ 1名

◆全委員会活動報告

各委員会から一年間の活動報告がなされ、どの委員会少なからず新型コロナウイルスの影響を受けて、活動の縮小や、感染対策を取りながらの活動になり、本来ならば、各委員会の親睦の席を設けながら活動したかったのですが、残念で仕方ありません。次年度は、状況が変わることを期待しております。

◆退会挨拶

4名の方が6月30日をもって退会されます。ご挨拶をいただきました。

齋藤浩 会員 人生の半分以上をロータリークラブで過ごさせていただいた。大変お世話になりました。

植木洋司 会員 長年お世話になりました。何が楽しかったかという、人との出会いが一番です。良い仲間と仲良くできたことが財産です。ありがとうございました。

弓田智之 会員 人事異動で郡山の桑野支店と西ノ内支店に参ることになりました。ロータリークラブの経験は、大きな財産です。もう少し居たかったのですが残念です。後任に引き継ぎます。お世話になりました。

青野浩文 会員 電気料金の値上がりや、電力需要のひっ迫でご迷惑をおかけしております。丸2年間在籍させていただきました。次年度職業奉仕委員会で実施する。東北電力の移動例会、私の手で実現したかったのですが、後任に引き継ぎます。ありがとうございました。



◆会長退任挨拶 一條 浩孝 会長

いよいよ最後となりました。退任の挨拶をさせていただきます。

今年度は創立51年目になります。昨年度の50周年はとても大きな節目でした。節目を超えた当クラブにとって、その先の50年を考えた時に何がしかの変化が必要なのではないか。多くの方からそうアドバイスを頂戴いたしました。私もそれに応えるべく、なぜ変えることが必要なのかをご説明させていただきながら、出来ることから取り組んでまいりました。

まずは「変わった」ということが分かりやすい、例会の外形的なことから始めさせていただきました。会長である私も皆さんと同じテーブルに座り、点鐘もテーブルで行う。進行は会場監督の皆さんにご担当いただく、ということなどです。



たったこれだけのことではありますが、慣例を変えるということはロータリークラブにとってなかなか大変なことです。他クラブの会長さんにこのお話をしますと、皆さん一様に大変驚かれます。と同時に「福島南が羨ましい」とも言っていただきました。何をするにも不安はありましたが、この一年間、本当に自由にさせていただきました。福島南 RC の皆様の、変化を受け入れる寛容さと柔軟性には心から感謝申し上げたいと思っております。私個人としても福島南 RC に所属出来たことが、本当に幸せであったと思っております。ありがとうございました。

ただし、例会の外形的な部分を変えたからこそ、逆に中身についてはロータリーの本質を追求するものでなければならないとも考えました。それが「奉仕の理念を学び、実践しよう」という今年度のテーマにつながっていきました。

それではここから一つ一つ振り返ってみたいと思います。昨年7月7日、第一回例会の所信表明では運営方針の要点として4点取り上げさせていただきました。一つ目はコロナ

禍に対する考え方についてです。自治体の判断に合わせ協力するというものでした。結果として通算で3か月ものあいだ例会を休会とせざるをえない事態となってしまいました。が、やむを得ないことであったと思っております。現在は大分状況もよくなってまいりましたので、これから徐々に平常の姿に戻ってくるのではないかと期待しております。

二つ目は会長として私がしなければならないこと、について述べさせていただきました。先ほども冒頭で申し上げました通り、例会の外形的な部分を変えただけではあまり意味がありません。私は会長としてロータリーの基本理念に忠実であること、そして皆さんに奉仕の理念を奨励し続けることを目指してまいりました。事あるごとに奉仕の理念の重要性を説かせていただいたつもりです。少々耳障りなこともあったかと思いますが、それだけの覚悟をもって会長職をお引き受けさせていただいたということで、お許しいただければと思います。

三つ目が例会のあり方についてです。例会は「奉仕の理念」を学び合う場ととらえ、会員それぞれの持つ奉仕の理念を発表し合い、学び合う機会にしていきたいと考えておりました。

自らの奉仕の理念を発表する、といっても意外にハードルは高いものです。実際にはテーマを自由設定としてスピーチしていただきました。それでもそれぞれの会員の人となりを知れたり、感動的なお話があったり、充分意義深いものになったと思っております。

最後の4つ目は事業の継続ということです。変えるだけではなく、継続性も非常に重要だと考えましたので、社会奉仕活動などにつきましては全ての事業を継続とさせていただきました。

以上が所信表明の時にお話しさせていただいた基本的な運営方針でした。特に取り組みたかったのが三つ目の例会のあり方を変えることでしたので、もう少し詳しく振り返ってみたいと思います。

私は例会のあり方のなかで試してみたいことがありました。それは、例会を皆さんで作るものにするということです。そのために「準備」や「進行」や「中身」のそれぞれについ

て、出来るだけ多くの方に関わっていただくことにいたしました。

まず一つ目の準備ですが、会員スピーチのほとんど全てを職業奉仕委員会の皆さんにご担当いただきました。いつ、誰が、どんな内容でスピーチをしていただくのかを調整していただきました。33名のスピーカーを決めるだけでも大変なことです。例会の中止が断続的に続かなか何度も日程の調整をしていただき、大変であったと思います。全ての会員スピーチを滞りなく終えることができましたのは、職業奉仕委員会の皆さんのおかげです。御礼の意味を込めまして、職業奉仕委員会の皆さんには後ほど会長賞をお送りさせていただきたいと思います。渡辺雅浩委員長を始めとする職業奉仕委員会の皆さん、本当にありがとうございました。

次に二つ目の進行ですが、こちらは会場監督の皆さんにお願いいたしました。これまで進行は幹事が行って参りましたが、私の経験上ひとり冷や汗をかきながら、食事をするのもままならない日もございました。進行は幹事一人が担うのではなく、多くの方が関って行えないものか。それには例会を取り仕切る会場監督の皆さんに進行までをお願いするのが最もふさわしいと考えました。結果として、とてもよかったと思っています。会場監督の皆さんが初めて進行を担当される時は緊張もあったかと思いますが、全ての皆さんが会社に戻れば代表か幹部というとても有能な方ばかりです。いずれの回も問題なく例会を進行していただきました。

特に会場監督の吉田和義さんには私の要望を全て聞き入れていただき、時には私も幹事も気づかない点をフォローしていただきました。思い返せば3年前、当時の会長であった吉田さんが退任される時、幹事であった私の退任あいさつのなかで「これからは余生をゆっくりとお過ごしください」とねぎらいの言葉を贈らせていただいたにも関わらず、「ゆっくりとした余生」どころか大変なご苦勞をおかけいたしました。感謝の意味を込めまして、会場監督の皆さんにも後ほど会長賞をお送りさせていただきたいと思います。会場監督の皆さん、一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

そして三つ目の中身についてですが、こちらは会員スピーチをご担当いただきました33名全ての皆さんとなります。今年の例会は会員スピーチをされた皆さんが主役であったと思っています。出席するだけでなく、自らがスピーカーとなって参加することに大きな

意義があったと思っています。担当された方は、何を話そうか、時間は大丈夫か、と苦労された方もいらっしゃるかと思います。しかしその分、お聞かせいただいた私たちにとって大変有意義なものになりました。

このようにして例会の準備・進行・中身につきまして、実に多くの皆さんに参加していただき、支えていただいて例会を運営することができました。関わっていただきました全ての皆様に心から感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

ここからは各委員会の皆さんに感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

林 克重委員長を始めとする未来計画委員会の皆さん。私の運営方針についてご理解いただき、そしてまたアドバイスをいただき大変助かりました。今後とも福島南 RC 繁栄のために未来への進むべき道をお示しいただければと思っております。ありがとうございました。

齋藤弘之委員長を始めとする親睦活動委員会の皆さん。毎月の誕生祝をご担当いただきありがとうございました。予定していた事業のほとんどが中止となってしまい残念ではありましたが、最後まで新旧役員歓送迎会と新会員歓迎会ができたのは本当によかったと思っています。今年度はウナギを食べて始まりましたが、最後までウナギを提供していただきました。心配りに感謝いたします。ありがとうございました。

廣澤俊樹委員長を始めとするロータリー情報教育委員会の皆さん。ロータリーセミナーの開催ありがとうございました。また毎月のロータリーの友読みどころも10分と長くなりましたが、内容がとても充実しよかったと思っています。一年間ありがとうございました。廣澤委員長は次年度も継続となっておられるようですので、引き続き頑張っていたければと思います。

本田光男委員長を始めとするスマイリングボックス委員会の皆さん。例会ではいつも早い時間から寄付集めをしていただきありがとうございました。奉仕財源の確保にお骨折りをいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

鈴木光一委員長を始めとする会員増強委員会の皆さん。今年は退会者も多く、純増とはいえませんでした。それでも新しい会員をお迎えすることができました。一年間ありがとうございました。

河野 忠委員長を始めとするクラブ会報委員会の皆さん。今年から会報はネット上で掲載するものとなりました。初めてのことでしたので立ち上げには大変苦労されたかと思いません。今では大変スムーズに会報作成が行われているようですので、次年度以降のためにもとてもよかったと思っております。ありがとうございました。

河谷 元委員長を始めとするクラブ広報委員会の皆さん。今年度からフェイスブックを使っただけの広報を始めました。やはり初めての試みでしたので立ち上げには苦労されたかと思いません。今後いかにして浸透させていくかという課題は残りましたが、その基礎を作り上げていただきました。ありがとうございました。

海老根潤委員長を始めとする社会奉仕委員会の皆さん。社会奉仕活動も多くが中止となつてしまいましたが、それでも防火パレードや杉妻小学校への図書贈呈、福島リトルリーグへの支援などは継続して実施できました。ありがとうございました。

安齋常克委員長を始めとする国際奉仕委員会の皆さん。今年はコロナもあり海外渡航できないということで、せめて国内旅行でも、という時期もありましたが、それもコロナの蔓延で叶いませんでした。打ち合わせだけで終わってしまいましたが、様々お考えいただきましたことはとても嬉しく思っております。ありがとうございました。

伊藤弘子委員長を始めとする青少年奉仕委員会の皆さん。IAC への支援、特にマナー教室の開催は生徒の皆さんも私たちロータリアンにとっても学べるとてもいい機会となりました。ありがとうございました。伊藤委員長は来年も継続となつておられるようですので、引き続き頑張ってくださいと思います。

笠 雅樹委員長を始めとするロータリー財団委員会の皆さん。一年を通しての寄付集めをご担当いただき、ありがとうございました。またグローバル補助金への対応、お疲れさまでした。笠委員長も留任されるようですが、二年後の実施に向け、頑張ってください。

と思います。一年間ありがとうございました。

最後に、鈴木洋子委員長を始めとする米山記念奨学会委員会の皆さん。寄付集めや米山奨学生のフォロー、一年間お疲れさまでした。そして委員会の皆さんが一致団結しておられたのは大変素晴らしいことだと思っております。ありがとうございました。

理事役員の皆様にも感謝申し上げたいと思います。今年度は集まることすら難しい状況のときもあり文書による決議も沢山ございました。それも含めいつもスムーズな理事会の進行にご協力いただきました。心から感謝申し上げます。一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

事務局の佐藤さんにも感謝申し上げたいと思います。私が幹事の時と同じようにお支えいただきました。全て安心してお任せすることができました。今後とも末永く福島南 RC の事務局をお願いできれば大変ありがたいと思っております。感謝の意味を込めまして佐藤さんには後ほど記念の品をお送りさせていただきます。ありがとうございました。

また会場をご提供いただきましたクーラクーリアンテさんにも御礼申し上げたいと思います。コロナによる急なキャンセルなどにもご対応いただき、大変ななかにも関わらずいつも私たち福島南 RC を中心にお考えいただきました。本当に頭の下がる思いです。ありがとうございました。

そして、来週からはいよいよ次年度がスタートします。渡邊正義会長、宍戸隆司幹事、お二人とも素晴らしい経営者でもいらっしゃいますので全く心配はしておりませんが、何かあればいつでも微力ながらお支えさせていただきたいと思っております。私が試みたことに捉われることなく、思う存分その手腕を発揮していただければと思います。

ここまで一年を振り返り、皆様へ感謝の気持ちもお伝えすることができました。心残りなのは家族を招いての例会が開催出来ませんでしたので、会長としての姿を妻に見てもらうことが出来なかったことが少しだけ残念ではあります。でも今は今年度が無事終了できることに、ひたすら安堵しております。

そして退任の挨拶の最後は、赤間幹事に対し一言物申して終わりにしたいと思います。この一年間いつも、何をするにもギリギリ、ハラハラの連続でした。ただ、赤間君が仕事上で大変な状況になっていることも聞いておりましたので、極力負担を減らすよう心掛けてきたつもりではおりましたが、大変な時もあったかと思えます。例会の進行も会場監督の皆さんにお願いしましたが、進行の原稿は全て赤間幹事が作ってくれていました。従って、ギリギリだろうがなんだろうが間に合いさえすればOK、そう思うようにしていました。今年度がスタートして時間が経つうち、徐々に仕事の見通しがつきそうだと聞いたときは本当に嬉しく思いました。ロータリーではよくても会社がギリギリでは困ってしまいます。余裕が持てるよう頑張っていたきたいと思います。いろいろ申し上げてきましたが何より、いつも冗談を言い合っては大笑いしながら一年を過ごすことが出来たのは、本当にいい思い出となりました。お世辞ではなく私にとって赤間君は最高の幹事であったと思っています。一年間大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

それでは、以上で退任の挨拶を終わりにしたいと思います。

皆様大変お世話になりました。次年度は皆さんで渡辺会長、穴戸幹事をお支えして、素晴らしい福島南 RC にしていきたいと思います。一年間、ありがとうございました。

◆会長賞授与

新しい例会の形に尽力した職業奉仕員会と S A A に会長賞が授与されました。



◆記念品授与

事務局の佐藤真紀さんに記念品が贈呈されました。佐藤さんがいなければ、福島南ロータリークラブは活動できません。一年間ありがとうございました。ずっと事務局でいてください。



◆幹事退任挨拶 赤間 浩一 幹事

一條会長から幹事を依頼する電話を頂いたときの事を思い出します。

朝の通勤渋滞で車が動かない時に、ふと 柿の皮むき機の事が頭に浮かんできました。会社について皮むき機の事はすっかり忘れて仕事をしていたら、一條会長から電話が来て、「幹事をやってくれないか？」と言われました。

たまたま 朝、皮むき機が頭に出てきて、そのすぐ後に幹事やってくれて言われた時に ちょっと運命を感じちゃいまして、その電話でやりますと言ってしまいました。

考えてみたら、一條会長はもっと前から誰が良いかなって考えて前日の夜には次の日に電話しよう決めていたと思います。

すなわち一條会長の強い思いが渋滞の時に私に降りかかってきたのだらうと勝手に思っております。



そして、幹事と言う職を言われた時に頭の中に出てくる言葉は、『幹事はとにかく大変だろうな』と言う事でした。

例会の運営や理事会または様々な事業に向けて都度打ち合わせを行い、自分の仕事はいつやっているんだろう？と言う位に大変そうに見えておりました。

しかしながら、今年度は例会の運営に大きな変化があった年でした。

私にとって一番大きな変化は、やはり司会進行です。

私が幹事になった年度からやらなくなった という事で、

最初は後ろめたさがありました。

吉田 会場監督から『SAAは司会進行を一致団結してヤル気満々だよ。』と言って頂いた事によって、後ろめたさは薄らぎましたし、

心に少しゆとりが出来た言葉でした。

これは、一條会長の方針の一つとして、『出席する例会から参加する例会に』、とありましたように

職業奉仕委員会による会員スピーチ依頼もそうですが、司会進行もまたその思いを形にした一つであったと思います。

このように、皆さんの意識の中で『参加する』となった事で、

お陰様で私は、非常に助けて頂き、自分の仕事と幹事の職を両立して、実施することが出来たと思います。

一年間 幹事の職を全うできたのは、会員お一人おひとり、皆様の支えがあったからこそ と心から感じております。皆さん本当にありがとうございました。

一條会長のもと幹事の職に付けた事は、私にとって良い経験も出来ましたし、とても勉強になりました。とにかく楽しい日々を過ごすことが出来ました。

一條会長本当にありがとうございました。

最後に これから幹事をやるであろう皆様に一言だけ言わせて下さい。

幹事という職は、もちろん大変な事もありますが、それ以上に楽しい事が沢山ありますので、依頼があった際には、運命を感じなかったとしても、引き受けることをお勧め致します。

以上、一年間 本当にありがとうございました。

◆バッジ交換・花束贈呈

一條会長から渡邊会長エレクトに、赤間幹事から宍戸次年度幹事にバッジが引き渡されました。一條会長、赤間幹事本当にお疲れ様でした。渡邊会長エレクト、宍戸次年度幹事頑張ってください。



◆次回例会

第1回 2022. 7. 6 (水)

- ・新会員入会式
- ・各委員会前年度各種表彰
- ・ゴルフ部会への会長杯トロフィー贈呈
- ・①クラブ協議会：全委員会活動計画発表
- ・会長所信表明
- ・幹事挨拶

クラブ会報委員会から

今年から会報は、ホームページをメインとし発行が始まりました。当初は、パソコン操作もままならず苦労いたしましたが、皆さんからのご協力を得て、会員スピーチの原稿を電子データにてお送りいただき、徐々にスムーズに編集作業を進めることができました。また、事務局の佐藤さんにも、誤字に対しての校閲をいただき非常に助かりました。委員会のメンバーにも恵まれ、全員交代で編集作業をできたのもとてもありがたかったです。次年度の木村委員長に自信をもって引継ぎすることができます。一年間会報を見ていただきましてありがとうございました。

以上